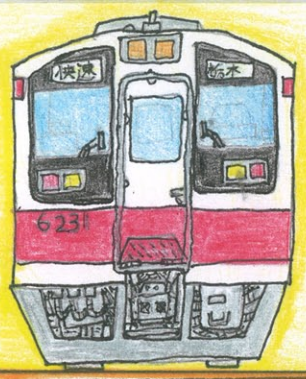


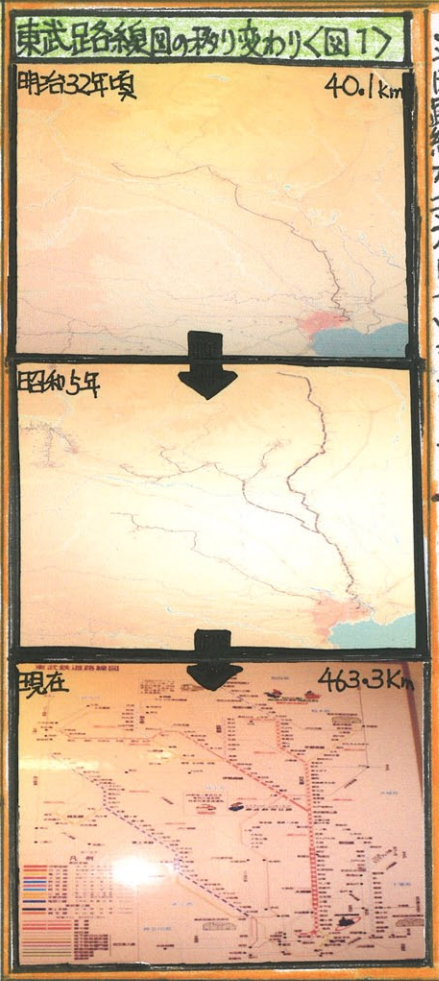
TOBU鉄道新聞

くらしと鉄道特別号
8月16日(月曜日)
2010年(平成22年)
発行者
山口 静也

東武の歴史からみてみよう!! 人のくらしと鉄道の変化

ぼくの住む栃木市には、JR線の他に東武鉄道宇都宮線と日光線が走っています。ぼくは電車が大好きなのでよく駅へ電車を見に行きます。そこで今年、東武伊勢崎線百周年記念のポスターを発売するポスターを見かけ「昔の東武線はどんなかんじだったのかな?」と疑問に思い、調べてみることにしました。

東武鉄道の最初の開通路線は明治三十二年八月の東武伊勢崎線、北千住駅から久喜駅でした。その頃はまだ電車ではなく、イギリスのベヤーピーコック社から買った蒸気機関車だったそうです。今はありませんが、当時は貨物運搬と旅客をしていたそうです。その後、昭和初期にかけて、イギリス製の電気機関車など、便利な車両が増え、路線も他の地域会社と合併することにより、拡大して群馬県桐生市や栃木県足利市の繊維製品等が東京との間を東武鉄道の貨物電車を通してさかんに行きかうようになり、少しずつ地方の街が活性化していったようです。その後も左図のように路線が拡大していきました。



昭和三十六年ほど貨物輸送が最も活発に行なわれ、セメント・石油・砕石等の運送もされ、ますます工業・商業ともに、地方の街が東武鉄道の活やくで発達していき、人々のくらしも豊かになっていきました。

その他にも戦後の観光ブームにより、東武日光・鬼怒川線や伊勢崎線に日マンスカーが走るようになり、仕事だけでなく、旅行あ目的の利用客が増加していきました。そのおかげで、観光地もにぎやかになり、遠方への旅行はますますみ力的になっていきました。

現在の東武鉄道は東京・千葉・埼玉、栃木・群馬といった一都四県をつなぐ十二路線を持つ関東地方で一番長い路線の民鉄へと成長しました。路線の成長とともに東武鉄道は今最も大切だと思われる地球と人間にやさしい鉄道へと変化するため、車両に回生ブレーキやVVVFインバータ制御方式・リサイクルやすいアルミの車体をとり入れて、車内に車イススペースや優先座席等をとり入れる工夫をしています。この様なたえまない努力をする東武鉄道だからこそ利用客が増え、そのおかげでこんなにも周囲の街や人々のくらしが発達したのではないかと、ぼくは心から感動しました。

みんな集まれ! 楽しく学べる東武博物館

東武鉄道には、東向島駅に平成元年に開館し、昨年開館20周年でリニューアルオープンした東武博物館があります。ここには東武鉄道に関する歴史についての資料はもちろんですが、他にもぼくながら東武鉄道のことが学べるコーナーがたくさんあります。その中でもぼくとぼくの弟(6才)のお気に入りは「ウォッチングプロムナード」というコーナーです。このコーナーは東向島駅のホーム下にある博物館の建物に特に利用し、駅のホーム下の窓から、実際に走っている電車の車輪やモーター、そしてロングレールの伸縮継ぎ目を間近で観察したり「写真撮影が可能になっています。このコーナーには時刻表が書いてあるので、何時に電車が来るかすぐ確認できるので常にワクワクしながら何人もの人が電車が通るのを待っています。特急電車の通過の時はものすごい音と共にもとまらぬ車輪の速力に圧とうし、電車が停車した時は、じっくりと車輪等の動きを見ることができます。ぼくは何度みても、いつもこうふんしてしまいます。他にも、電車運転のシミュレーションや電車模型運転体験等、電車の走るしくみを実際に体験して学べるコーナーがたくさんあります。ぜひみなさん一度行って日頃利用している電車について楽しい発見をしてみて下さい。

東武にようこそ スカイツリー!

ますます便利に東武鉄道のあるくらし

東武鉄道は路線が長くなったためだけでなく、他にもみんなが利用しやすくなるよう様々な工夫をしています。

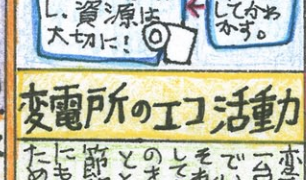
◆東武モバイルサイト◆
けい帯電話の普及が進んだ今、東武鉄道は、外出先でも、時刻表の確認や特急電車の予約が可能なけい帯サイトをつくりました。

◆東武ケータイネット会員募集◆
東武鉄道では、くらしの便利さとエコを考え、特急券とTJライナーのチケットレスサービスの可能なケータイネット会員を募集中です。みなさんも東武と一緒に便利でエコなくらしをしませんか。

地球にやさしい東武のエコ活動

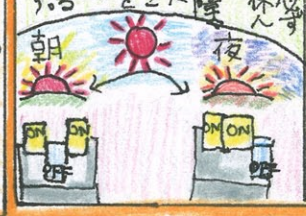
東武鉄道は人のくらしを便利にするだけでなく様々な面から地球へのエコ活動をしています。ぼくも一緒にエコ活動をできることからがんばります。

キップもきちんとリサイクル

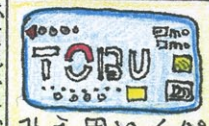


変電所のエコ活動

変電所では必ず一台の機械が休んでいます。それは一台故障しても休んでいた機械を動かすことで電気を節約して地球にもエコになるためだそうです。



PASMOでエコ



パスモは電車・バス・コインロッカーや買い物といった様々な場所で使用できるくりかえし使える便利なカードです。みなで活用してエコしよう。

楽しく広がれ民鉄の輪

今年の夏休みの間、東武・西武・小田急・京成の特急に乗りながらスタンプを集めてオリジナルグッズをもらえる楽しいスタンプラリーの企画が開催されました。このようなイベントがあったら、電車を乗り継ぐ遠方への旅も、楽しみながら出来ると思います。それにより利用客が増えれば車より、エコな電車が活やくして地球にも民鉄にもうれしいことだと思います。これからも民鉄同士で協力した楽しいイベントを続けてほしいです。

編集を終えて…

今回この新聞の取材のため、東武博物館や、東武鉄道の駅を3ケ所訪ねました。どこへ行っても東武で働くみなさんが笑顔でていねいにぼくの質問に答えてくださった事が一番心に残りました。東武鉄道の活やくはたくさんあってどれを記事にするか本当にまよいましたが、取材に答えてくださったみなさんのおかげでこの新聞が出来あがりました。ありがとうございました。